令和5年度 卒業時アンケート

集計結果表

〈アンケート概要〉

[実施日] 令和6年3月22日(金)(卒業証書授与日)

[対象] 全学部(大学、短期大学部)の令和5年度卒業者

[回答方法] マークシート方式

[回答率] <大学> 91.5% (回答者数 1,465名)

<短大> 94.9% (回答者数 166名)

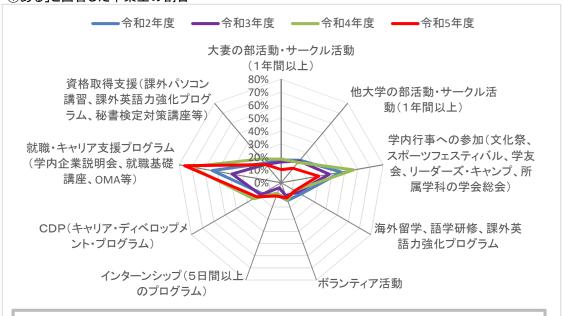
令和6年5月7日 企画·戦略室 [設問内容、選択肢]

	[設問内容、選択肢]	\22.1U.U+
		選択肢
	【GT~G9】 次のQ1~Q9の各項目で、あなたが在学中に経験したものはどれですか。	
	以下の選択肢からあてはまるものを選んでマークしてください。	
在学中の	Q1 大妻の部活動・サークル活動(1年間以上)	
	Q2 他大学の部活動・サークル活動(1年間以上)	
	学内行事への参加(文化祭 スポーツフェスティバル 学友会 リーダー	
	Q3 ズ・キャンプ、所属学科の学会総会)	
	Q4 海外留学、語学研修、課外英語力強化プログラム	
経	Q5 ボランティア活動	 () ある
験	Q6 インターンシップ(5日間以上のプログラム)	②ない
	Q7 CDP(キャリア・ディベロップメント・プログラム)	
	Q8 就職・キャリア支援プログラム(学内企業説明会、就職基礎講座、OMA	_
	Q9 資格取得支援(課外パソコン講習、課外英語力強化プログラム、秘書検	
	[Q10~Q19]	
	次のQ10~Q19の各項目で、入学前と比べて、あなたは本学での学びを通じ	
獲	てどのような知識や能力を獲得・向上できたと思いますか。	
得	以下の選択肢からあてはまるものを選んでマークしてください。	
li	Q10 所属学科·専攻の専門的知識	_
た	Q11 幅広い知識・教養 Q12 材 国語の運用力	-
知	Q12 外国語の運用力 Q13 情報収集・分析力	-
識	Q14 問題発見・解決力	
ゃ	Q15 計画力·実行力	」①復待・向上できたと思わない ┃
能	Q16 プレゼンテーションカ	
カ	Q17 コミュニケーションカ	- I
	Q18 主体的に取り組む力	
	Q19 リーダーシップ	-
学		①とても努力した
学 習 努		②やや努力した
幺	Q20 本学でのあなたの学習努力を自分ではどう評価しますか。	③あまり努力しなかった
 分		④努力しなかった
	[Q21~Q37]	
	次のQ21~Q37の各項目で、あなたは本学の教育内容、学生支援等につい	
教	て、どの程度満足していますか。	
	以下の選択肢からあてはまるものを選んでマークしてください。	
	Q21 専門教育の授業(内容・カリキュラム)	
容	Q22 ゼミナール·卒業論文·卒業研究の授業	1
	Q23 外国語教育の授業	
学	Q24 コンピューター教育、情報教育の授業	
生	Q25 全学共通科目(教養科目)の授業	
支	Q26 キャリア教育、就職支援体制 Q27 海外研修、留学支援体制 Q28 資格取得支援体制	□ □①満足
援	Q27 海外研修、留学支援体制	2やや満足
等	Q28 資格取得支援体制	→③やや不満足
1	Q29 正課外活動支援体制(部活動、サークル活動、ボランティア活動等)	④ 、
	Q30 教員の対応	- ⑤わからない(利用していない ┃
	Q31 事務窓口の対応・支援	等
る	Q32 教室環境	-
	Q33 学内のパソコン利用環境	-
	Q34 学内でくつろげる場所 Q35 図書館	-
艮	Q35 図書期 Q36 食堂(メニュー・価格・営業時間・広さ等)	- I
	Q30 <u>長至(アーユー・ 竹 名条時间・ (</u>	-
進	マン: プロル A世兄 HP /	①満足
路		②やや満足
先満	Q38 あなたは、これからの進路(就職先・進学先等)に満足していますか。	③やや不満足
満	マックログ・マイング・フックに四〜MMMの 低丁ルザハー側にしているりか。	(4)不満足
足度		⑤わからない
学		
牛		①満足 ②やや満足
生	Q39 あなたは大妻女子大学での4年間(短大生は2年間)の学生生活に満足	③やや不満足
生活満	^{QOS} していますか。	④不満足
足		⑤わからない
度		@1710.0.0.

1

【Q1~Q9】あなたが在学中に経験したものはどれですか。

「①ある」と回答した卒業生の割合



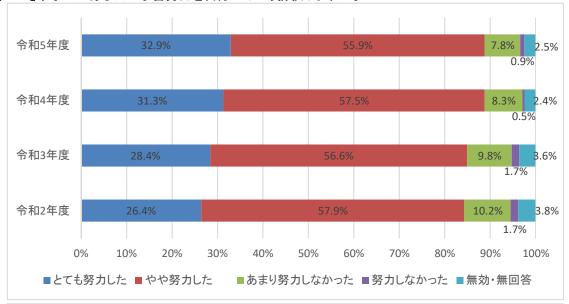
令和5年度は本学他大学含めた部活動・サークル活動、及び学内行事への参加が4年間で最も少なかった。この学年は入学年度にコロナ禍でほぼ通年に亘り学内活動ができなかった。部活動・サークル活動や学内行事に関しては、初年度の状況が後年度に大きく影響する可能性がある。

【Q10~Q19】入学前と比べて、あなたは本学での学びを通じてどのような知識や能力を獲得・向上できたと思いますか。 「①獲得・向上できたと思う」と回答した卒業生の割合



令和4年度に設問を複数選択式から一問一答式に変更したことにより回答傾向が大きく変化したが、令和2年度と3年度、令和4年度と5年度では調査対象者が毎回異なるにも関わらず回答がほぼ一致している。毎年見られる傾向として、専門知識や教養は獲得・向上できたと思う割合が高く、外国語運用力とリーダーシップが低い。

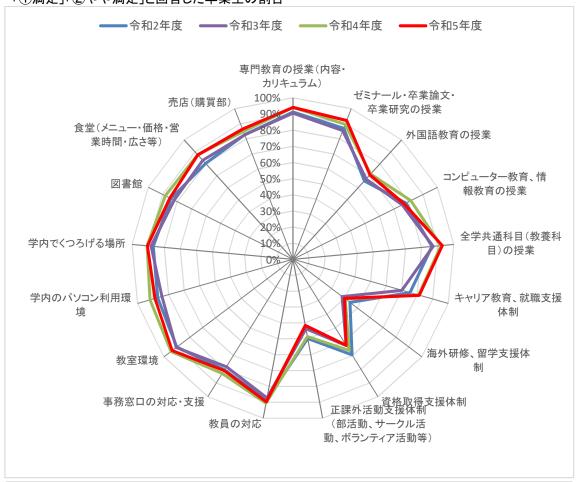
【Q20】本学でのあなたの学習努力を自分ではどう評価しますか。



「とても努力した」「やや努力した」の合計割合が年々上昇しており、自己評価が高まっている。

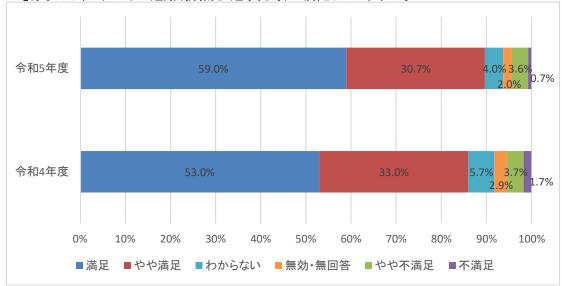
【Q21~Q37】あなたは本学の教育内容、学生支援等について、どの程度満足していますか。

「①満足」「②やや満足」と回答した卒業生の割合



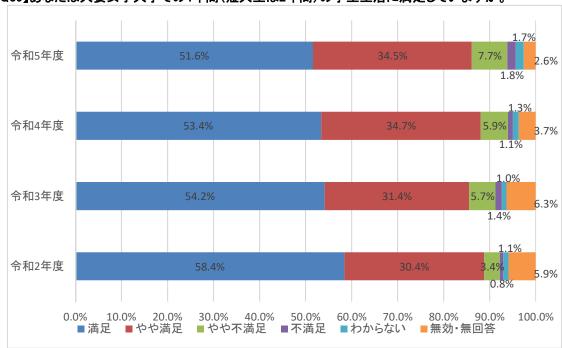
全体的に「満足」「やや満足」の割合が高いが、海外研修や留学支援、正課外活動支援の割合は比較的低い。又、経年で見ると、レーダーチャートの形状は毎年ほぼ同じだが、令和4年度と5年度は過去2年に比べて全体的に「満足」「やや満足」の割合が高くなっている。

【Q38】あなたは、これからの進路(就職先・進学先等)に満足していますか。



令和4年度から新たに加わった設問である。 「満足」「やや満足」の合計割合は令和4年度、5年度ともに9割弱である。

【Q39】あなたは大妻女子大学での4年間(短大生は2年間)の学生生活に満足していますか。



「満足」「やや満足」の合計割合は85%程度で毎年推移しており、経年での大きな変化はみられない。ただし、「満足」に減少傾向、「やや不満足」に増加傾向がみられる。